

令和 6 年度
専門学校 北九州看護大学校

学校関係者評価表

令和6年度 学校関係者評価報告(専門学校北九州看護大学校)

1 教育理念

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学校の理念・目的・人材育成像は定められているか	適切	適切
学校における職業教育の特性は何か	適切	
社会経済のニーズなどを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	ほぼ適切	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが保護者等に周知されているか	適切	
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	適切	

【関係者評価】

教育理念に関する評価	評価項目	チェック欄	教育理念・教育目的・教育目標を基に、社会のニーズを踏まえた看護師を輩出していくため、更なる研修研鑽を重ね、社会的評価を得る教育活動を行って欲しい。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

2 学校運営 及び 重点目標

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
目的等に沿った運営方針が策定されているか	適切	適切
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	適切	
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	ほぼ適切	
教務・財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか	ほぼ適切	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか	適切	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	適切	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

学校運営及び重点目標に関する評価	評価項目	チェック欄	カリキュラム内容や実施については、年間計画に沿って運営されていると認識している。年度に応じた重点目標を達成できるよう職員一同が共通認識のもと取り組む集団であることを望む。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

3 教育活動

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか	適切	適切
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	適切	
学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	適切	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	ほぼ適切	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しなどが行われているか	ほぼ適切	
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	適切	
授業評価の実施・評価体制はあるか	適切	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	適切	
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	適切	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	適切	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	ほぼ適切	
関連分野に関する業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するマネジメントが行われているか	ほぼ適切	
関連分野における先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	ほぼ適切	
教員の能力開発のための研修等が行われているか	適切	

【関係者評価】

教育活動に関する評価	評価項目	チェック欄	教育活動については概ね適切に行われていると評価できる。本校が目指す看護師育成教育の体制を教員の共通理解のもとで構築していくことを期待する。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

4 学修成果

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
就職率の向上が図られているか	適切	ほぼ適切
資格取得率の向上が図られているか	適切	
退学率の低減が図られているか	ほぼ適切	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	ほぼ適切	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善に活用されているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

学修成果に関する評価	評価項目	チェック欄	評価は「ほぼ適切」であるが、看護師養成所の最終的目標である国家試験合格100%はとても評価の高い指導力が認められ「適切」に値する。難しいであろうが退学、休学の学生がなくなるような支援や卒業生のキャリア形成支援を検討してほしい。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

5 学生支援

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	適切	適切
学生相談に関する体制は整備されているか	適切	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	適切	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	適切	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	適切	
学生の生活環境への支援は行われているか	適切	
保護者と適切に連携しているか	適切	
卒業生への支援体制はあるか	適切	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	ほぼ適切	
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	適切	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	適切	

【関係者評価】

学生支援に関する評価	評価項目	チェック欄	学生支援は学校全体で取り組んでおり、高い評価ができる。特に、メンタルケアに対しての環境は整っていると感じている。今後も学習面と生活面がサポートできる学校として強みとしてほしい。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

6 教育環境

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	適切	適切
学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	ほぼ適切	
防災に対する体制は整備されているか	適切	

【関係者評価】

教育環境に関する評価	評価項目	チェック欄	実習施設との連携も出来ており、学生の実習環境は整っていると評価できる。また、実習施設として主となる小倉医療センターとの教育連携は、効果的な看護教育をもたらしていると評価する。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

7 学生の受入・募集

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学生募集は適正の行われているか	適切	適切
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	適切	
学納金は妥当なものとなっているか	適切	

【関係者評価】

学生の受入・募集に関する評価	評価項目	チェック欄	少子化と近郊の看護学校との競合に加え大学の新設など学生募集には厳しい状況であるが、全職員で募集活動に取り組み意識が高くなっていることが評価できる。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

8 財 務

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	ほぼ適切	適切
予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	ほぼ適切	
財務について会計監査が適正に行われているか	適切	
財務情報公開の体制整備はできているか	適切	

【関係者評価】

財務に関する評価	評価項目	チェック欄	定員割れの中で経費削減を意識した工夫は評価に値する。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

9 法令等の遵守

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	適切	適切
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	適切	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	適切	
自己評価結果を公開しているか	適切	

【関係者評価】

法令等の遵守に関する評価	評価項目	チェック欄	個人情報の保護については、学校、学生、保護者での三者で意識を高め遵守がされていることが認められる。SNSなどの利用頻度は年々高くなっているので注意喚起を継続してほしい。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

10 社会貢献・地域貢献・リカレント教育

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適切	適切
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	適切	
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	適切	

【関係者評価】

社会貢献・地域貢献・リカレント教育に関する評価	評価項目	チェック欄	看護教育の中に社会人基礎力の向上を目指し、その一環としてボランティア活動を取り入れてることが認められる。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		